

防災用品のプロにお話を聞きました。 非常時があると助かるすぐれものグッズ。

株式会社 中山防災(宮前区馬絹) 西山 茂さん

区内で消防設備の設置・定期点検などを行い、各種防災用品を取り扱っている(株)中山防災の西山さんに、非常時に備えておきたい携行品についてお話を伺いました。

「大地震の場合、避難をはじめた後も余震が心配されるので、**頭を保護する防災ずきんやヘルメットは用意したい**ものです。最近では折りたためて、軽量で強度も十分なヘルメットが販売されています」「避難時に心配なのがトイレ。避難所の仮設トイレや、自宅のトイレが使用可能であればいいですが、避難中でトイレなどない状況も考えられるので、排泄物を固め

消臭効果もある**携帯トイレを用意しておく**と良いでしょう。」「**携帯用のレインコートは役に立ちます**。雨を防ぐのはもちろん、冬などは防寒の役目も果たす便利ものです。100円ショップで売っているようなものでも十分です。」他にも、ある程度の強度があり耐熱性もある軍手などがあると便利ということです。

最後に「持ち出し品は、使い方を熟知しておかないと、効果は半減してしまいます。特にトイレなど**平常時に使い方を体験しておくことが、被災時に冷静に対応できるポイント**です。」というメッセージをいただきました。



●タタメット(たためるヘルメット)
折りたたむことができ、収納しやすいヘルメット。
瞬時に立体化できる便利なもの。
強度はしっかりしていて、どこにでもしまっておけます。



●エマージェン ポケット(携帯トイレ)
持ち運びに便利な小型軽量の携帯トイレ。
排泄物を固め、臭いを数日間抑えます。



●アラミド軍手
抜群の耐切創・耐突刺性で、
がれきなどから手を守ります。
しかも優れた耐熱性と遮熱・防炎性。

「季刊 防災ニュース」に関するお問合せは、宮前区役所危機管理担当(856-3114)まで
バックナンバーは、宮前区役所ホームページ⇒安全安心のまちづくり⇒「防災ニュースのページ」でご覧いただけます。



季刊

防災ニュース

2013.9
第21号

宮前区役所危機管理担当/宮前区まちづくり協議会防災部会



非常持ち出し品は、 日ごろから、こまめに 見直しましょう!

**非常持ち出し品はただ揃えるだけではダメ!
どのように使うかを日ごろから確認し、
災害時に備えることが大切です。**

いつ起きてもおかしくない大規模な震災に備えて、非常持ち出し品セットを揃えることは、いまや常識になりつつあります。ただ、一度揃えてしまうとそれきりになってしまうことも多いようです。災害時に必要になるものは、自宅の被害状況や各家庭の事情によってそれぞれ異なるはずですし、防災グッズも日々改善され進歩しています。持ち出し品セットを購入して安心しているのではなく、日ごろから、こまめに持ち出し品を見直して、災害時にほんとに役立つようにチェックしておきましょう!

中面に非常持ち出し品リストがあります。
ぜひチェックしてくださいー!

避難時にすぐ持ち出すべき「1次持ち出し品」と 救援物資が届くまで自足するための 「2次持ち出し品(備蓄品)」に分けて用意しましょう。

今備えている非常持ち出し品と下記のリストを照らし合わせて、空欄にチェックしていきましょう。



左の写真のような最低限必要な防災グッズを集めた非常持ち出し品セットが販売されていますが、家庭の事情にあわせて、内容をカスタマイズさせ自分仕様のセットを用意することが大切です。また電池や食品などの期限の確認など、日ごろからのチェックが必要です。



1次持ち出し品

避難所へ行く時に

被災時・非常時の最初の1日をしのぐために必要なもの。非常持ち出し袋に入れて、場所を決めて置いておきましょう。避難時に身につける「防災ずきん(ヘルメット)」「はきもの」も揃えましょう。

懐中電灯	電池式は予備電池を忘れずに。1人1個がベスト。
携帯ラジオ	被災地の情報収集は不可欠。予備電池を忘れずに。
ローソク・ライター	長時間の使用に適している。点火の際マッチより使い勝手が良い。
缶入り乾パン	最低限の食料として。
ペットボトル入り飲料水	1人1日3ℓが必要だが、持ち運びの重量を考えると半分の「1.5ℓ」が妥当。
救急セット・常備薬	防寒用としても使えるマスクも忘れずに。持病の常備薬は処方箋のコピーも。
万能はさみ	サバイバルナイフなどハサミ、ナイフ、缶切りなどの複合ツールがあると便利。
軍手・手袋	軍手は熱に強い綿100%のものを。皮手袋はガラス破片の片付けに役立つ。
ロープ	救助用。避難はしごの代用になる。
レジャーシート	1人あたり1畳分程度欲しい。避難先のスペース確保に。
サバイバルブランケット	非常時の軽量防寒ブランケット。
簡易トイレ	トイレにいけないことは深刻。市販の袋型のものを用意したい。
タオル	けがの手当て、汚れの拭き取りなど用途は広い。少し多めに準備。
ポリ袋	大小あわせて。物を入れる、雨具の代用としてかぶるなど、汎用性が高い。
トイレトーパー・ウエットティッシュ	水に溶けるトイレトーパーは、トイレ以外でも用途は多い。
笛(ホイッスル)	居場所を知らせ、助けを求める手段。
現金(10円玉)	公衆電話用。100円玉があっても良い。カード系の機種は電気が落ちると使えない。
ガムテープ(布製)	自宅を出るとき、伝言メモとして貼るなど。
油性マジック(大)	伝言を書く。
筆記用具	メモ帳とペン。聴覚障害の方や外国人との意思疎通にも使う。

家族構成や家庭の事情にあわせて 検討したいもの

必需品・貴重品

現金
家や車の予備鍵
メガネ・コンタクトなど
携帯電話
通帳・印鑑
健康保険証・運転免許証 (コピーや番号の控え)

女性用品

生理用品
鏡・ブラシ
化粧品

高齢者用品

高齢者手帳
おむつ
着替え
持病薬
予備メガネ
看護用品

赤ちゃん用品

粉ミルク
哺乳瓶
離乳食
紙おむつ
母子手帳
ベビーカー

洪水のときの必需品

さぐり棒 (足もとを確認するステッキでも可)

2次持ち出し品

避難所・自宅避難生活

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり自宅で避難生活を送るための備蓄品。最低3日分、できれば1週間分くらいを備蓄しましょう。

飲料	飲料水(1人1日約3ℓ)	◎
	非常用給水袋	
食料	アルファ米	
	乾パン	
	インスタントラーメン	
	缶詰類	◎
	レトルト食品	
	切り餅	
	即席スープ・みそ汁	
	ビスケット・キャンディ・チョコレート	
	塩	
	衣類	上着・下着・靴下
タオル・バスタオル		
生活用品	毛布	
	雨具	
	予備電池	◎
	卓上コンロ・ガスボンベ	
	固形燃料	
	鍋・やかん	
	ラップ	
	皿・コップ(紙・ステンレス)	○
	わりばし・スプーン	
	歯ブラシ・石けん	
	携帯電話の充電器(電池式・手回し式)	
	新聞紙	△
	使い捨てカイロ	
	安全ピン	

◎必需品 ○揃えておきたいもの △あると便利